

事務事業名	公共土木施設災害復旧事業 (R3災)	所属部	建設部	所属課	建設工務課	
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	公共災害復興チーム	
	施策名	〈12〉道路の整備		課長名	松村 直樹	
	目的・対象	市民	意図	市内及び市外へ安全で便利に移動できる。	電話番号	0854-40-1062 (内線) 2474
	基本事業	〈035〉道路の維持管理		担当者名	錦織 健人	
目的・対象	道路利用者	意図	安全に移動できる。	会計	0:1550:3	
				款	大:大 現年発生公共土木施設 中:中 災害復旧事業 小:小 現年発生公共土木施設 業名 災害復旧事業	
				科目	1:0100:1 項 目 中事業 中事 業名 災害復旧事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
災害発生箇所	道路、河川の機能を復旧することによって、安全に利用することができる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (R3 年度 ~ R5 年度)	市管理河川・道路の被災箇所の復旧工事を実施する。(R3年発生分) 【災害復旧基準】 ・日雨量80mm以上、時間雨量20mm以上 ・河川の場合は雨量の他に断面積の2分の1以上の流量が必要。 ・補助対象事業費は60万円以上である。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
○災害査定申請 申請件数:280件(河川:116件, 道路:164件) ○工事発注・監督 ・河川22箇所 ・道路79箇所	日常の道路・河川点検が必要であり、職員によるパトロールを実施した。 災害調査、測量設計については外部委託を行い事務の軽減を図った。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)	R4年度 (計画)
ア 発注率	%			36.1	80.7
イ 完了率	%			1.1	51.4
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)		② コストの推移		単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
【地方債】災害復旧事業債		財源内訳	国庫支出金	千円			308,197	1,335,426
委託費	322,154千円		県支出金	千円				
工事費	205,607千円		地方債	千円			188,600	616,500
補償費	2,144千円		その他	千円				
事務費	10,530千円		一般財源	千円			43,638	68,528
計	540,435千円	事業費計	千円		0	0	540,435	2,020,454

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	災害発生後、災害査定から工事発注まで早急に対応し安全性を確保した。また、生活に著しく支障のある箇所については応急工事を実施し、支障範囲を最低限に留めた。
② 事業実施するうえでの課題	災害発生から復旧工事まで効率的に進捗するよう心掛けている。河川や道路については日常のパトロールで記録を残すことが必要。
③ 課題解決に向けた改革改善等	災害復旧事業は異常な天然現象によるものであるため、事業量の把握は困難であるが、現状どおり事務の効率化を図ることは必要。